

伊丹市長選挙特集 **候補者アンケート****高橋あこ氏**

## ①「こども医療費助成」について

「みんなにやさしいまちは、みんなにやさしいまち」というスローガンのもと、福祉、教育施策の充実を公約にあげています。高校生の通院無料化も取り組む政策として視野に入っています。

ただ、優先順位として公約の重点項目として掲げている学校給食無償化、物価高緊急対策などの政策を先に進め、その後の取り組みとなります。

## ②「資格確認証」の職権発行について

兵庫県における後期高齢者医療制度については、県内のすべての市町が加入する「兵庫県後期高齢者医療広域連合」が運営していることから、ご質問の「プッシュ式」資格確認書発行については同広域連合が判断するものであらうと考えます。

国民健康保険被保険者については、厚労省がマイナ保険証を保有していない人、マイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない人全てに「プッシュ式」資格確認書を発行する旨を発表されています。加入者全員への発行については、こうした国の動きを注視し、伊丹市医師会、歯科医師会の意見も聞きながら、市民が医療受診時に戸惑いがないように適切に対応して参ります。

## ③「高額療養費制度の改悪について」

高額療養費制度の変更については、国民健康保険、後期高齢者医療制度にとって赤字財政の改善に繋がるものです。一方、がん治療などの高度医療を受ける患者にとっては、家計への負担を増やすものであり、その影響は深刻です。この状況を踏まえ、日本の医療保険制度を堅持するという立場のもと、赤字体質になっている国民健康保険、後期高齢者医療制度への国の財政支援と高額療養費制度のありかたについて再検討するよう国に要望して参ります。

**茶谷英明氏**

伊丹市長候補者の茶谷英明氏は告示直前の出馬表明であった為、候補者アンケートの取り付けが間に合いませんでした。

兵庫県保険医協会のホームページは

**<http://www.hhk.jp/>**

\* 生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！

## 兵庫県保険医協会

**北阪神支部  
ニュース**

2025 年 4 月 4 日号 臨時号外 ( 部内資料 )  
発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治  
〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階  
☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802  
<http://www.hhk.jp/>

4 月 13 日投票 宝塚市長選挙・伊丹市長選挙

**保険医の要求を実現する機会に**

4 月 6 日告示、13 日投開票で宝塚市長選挙と伊丹市長選挙が行われます。いずれも現職市長が退任し、新人数名が争う激戦です。支部ではこの首長選挙を要求実現の絶好の機会と捉え、①子ども医療費制度拡充、②保険証廃止にともなう、保険者による資格確認書の職権での「プッシュ型」発行、③高額療養費制度改悪に対する政治的見解、の 3 つの設問で候補者アンケートを実施しました。今回も、各候補の見解を支部ニュースで会員に知らせ判断の材料を提供します。特に、宝塚市では、保守系市長が 2 代続けて汚職失職した後、中川智子氏、山崎はるえ氏を支部で推薦してきた経過があります。また、今回、支部幹事会 (4/3) で各候補の見識を比較検討し、森氏とは川村副支部長と脇野副支部長が直接懇談した結果、宝塚市長には森りんたろう氏を勝手連的に推すことを決めました。ぜひ投票のご参考にして下さい。

宝塚市長選挙特集 **候補者アンケート**

宝塚市長候補 森りんたろう氏

**森りんたろう氏**

## ①「こども医療費助成」について

原則として、高校三年生までの通院・入院含む医療費の完全無償化は進めたいと思います。ただし、宝塚市においては財政再建が喫緊の課題となっており、一般論としては財政再建のめどが立ち次第、進めたいと考えています。子ども医療費の無償化により夜間の

(次のページに続く)

(前のページより)

小児科受診が急増し、小児科医の疲弊現象を起こすような事例もあり、子どもの安全のため、必要な受診を促すとともに、不要不急の夜間の受診を減らすような工夫も同時に必要だと考えています。また、国の義務的経費となっている小児慢性特定疾患制度との整合性も重要だと考えています。

②「資格確認証」の職権発行について

マイナ保険証制度への急速な切り替えに伴い、医療現場の混乱を招いており、実際、医療機関への提示に躊躇を覚える患者も多いのは事実です。そういう意味でも、宝塚市国保被保険者や後期高齢者医療制度加入者といった宝塚市の権限で患者と医療機関側双方にとってプラスとなる「プッシュ式」資格確認証発行は前向きに検討したいと考えています。

③「高額療養費制度の改悪について」

高額療養費制度は特定疾病制度と同様に、急性であれ慢性であれ、重い疾病により経済的負担がかかる場合に一定程度経済的負担に歯止めをかけるという意味では、国民皆保険制度の根幹に関わる制度です。ですので、今回の高額療養費制度の制度改変は好ましくないと考えています。

宝塚市長選挙特集 候補者アンケート

小西ひこじ氏

①「こども医療費助成」について

財源が確保できたら、実施します。

②「資格確認証」の職権発行について

現時点では、マイナ保険証を拒み、資格確認証が必要と感じる方のみ発行でよいのではないのでしょうか。1つにまとまっていたほうが便利だと感じる方もいらっしゃるでしょうから、そこは個々の選択で。

③「高額療養費制度の改悪について」

所得（ある程度の目安として所得区分あり）に応じて自己負担限度額が定められているので、過度に限度額の引き上げには反対しますが、段階的に負担を強いられるのはある程度容認していかないといけないのではないか、と考えます。

当然、非課税世帯など、支払いが困難な方々の枠については据え置き、あるいは引き下げが望ましいと考えます。

大川裕之氏

宝塚市長候補者の大川裕之氏からは期日までに回答がありませんでした。

伊丹市長選挙特集 候補者アンケート

中田慎也氏

①「こども医療費助成」について

私は、高校3年生までの通院医療費の完全無料化については、市民の皆さまの関心が高い重要な課題であると認識しています。実施の方向性については前向きに検討してまいりたいと考えていますが、その実現には財源の確保が不可欠です。限られた財源の中で、他の行政サービスとのバランスを慎重に考慮しながら、政策的な優先順位を踏まえ、持続可能な制度設計ができるかどうかを総合的に検討します。市民の皆さまのご意見を大切にしながら、より良い医療制度の実現に向けて努めます。

②「資格確認証」の職権発行について

マイナ保険証の導入については、デジタル化による利便性向上や、医療 DX の推進を通じた医療サービスの質の向上といった大きなメリットがあると認識しています。一方で、ご指摘のとおり、マイナ保険証の利用に対して不安を感じる方がいらっしゃることも十分理解しています。特に個人情報の誤登録や漏洩、カードの紛失に対する懸念をお持ちの方に対しては、安全性や補償の仕組みを丁寧に説明し、ご安心いただける環境を整えることが重要です。

こうした背景を踏まえ、私は、マイナ保険証の普及促進に努めつつ、全ての被保険者の方が安心して医療を受けられるよう、資格確認書の発行についてもできる限りの適切な対応を検討します。市民の皆様の受療権を守ることは大前提です。利便性向上と安全性確保の両立を目指します。

③「高額療養費制度の改悪について」

高額療養費制度は、国民皆保険制度を支える重要な仕組みであり、経済的負担の軽減を通じて、すべての方が必要な医療を受けられることを目的とした制度です。今回の制度改革については、社会保障制度の持続可能性を確保しながら、より公平で適切な医療費負担の仕組みを構築するという観点から検討されたものと理解しています。確かに、自己負担額の見直しによって、一部の患者の方々にとっては従来よりも負担が増えるケースが生じる可能性がある点は十分に認識します。そのため、経済的に困難な状況にあるの方々へのきめ細やかな配慮や、必要な医療を受ける権利が損なわれないような仕組みの整備が重要です。一方で、医療財政の厳しさを踏まえ、制度を持続可能なものとし、将来世代にも安定した医療提供を続けていくためには、一定の見直しは避けて通れない課題でもあります。制度改革を進めるにあたっては、国民の皆さまの不安を軽減し、安心して医療を受けられるような施策の充実が不可欠であり、そうした視点を持ちながら、より良い制度となるよう政府の議論を注視したいと考えています。